

令和元年度 第1回 基幹相談支援センター運営委員会 概要

日 時：令和元年6月6日（木）、15：30～17：00

場 所：札幌市役所 本庁舎6階 1号会議室

出席者：12名 運営委員：永井委員、大下委員、重泉委員、荒川委員、

北川委員、木下委員、

（事務局：障がい福祉課2名、ワン・オール5名）

次第

- 1 令和元年度の事業計画について、ワン・オールから報告と質疑応答
- 2 ワン・オールの中立性、運営に関する各委員からの意見

扱われた内容（令和元年度事業計画に準じて報告）

- ・個別支援、ケースの傾向等について⇒個別支援の実績と相談の傾向について説明。
- ・相談支援事業の後方支援⇒『人材育成』とスキルアップ研修、共催研修の今年度の概要について報告。
- ・「基幹相談支援センター運営業務」のあり方検討について
⇒委託相談支援事業所への訪問調査、全国の政令指定都市にある基幹相談支援センターへのアンケート調査の結果と、今後の取り組みについて報告。
- ・計画相談支援の推進業務について
⇒計画相談支援の運営モデルを示していくための今後の取り組みについて報告。
- ・精神障がい者地域移行支援事業ピアサポーター活用業務の進捗状況
⇒地域移行の支援の経過や、今年度の普及啓発活動について報告。
- ・札幌市自立支援協議会に関するワン・オールとしての業務
⇒事務局業務および地域部会についての報告。
- ・誰もが住みやすいあしんのまちコーディネーター業務の進捗状況と今後の動きについて
⇒町内会への支援の経過や、研修実施にむけた活動について報告。

等

運営委員からの意見

- ・誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業について、各区の社会福祉協議会にも防災への取り組みをしている町内会の情報などがあるため、今後連携を強化できるとよいのではないかと。
- ・自立支援協議会の参加について、ワン・オール役割についての再周知や、収集した情報の分析をしていったらよいのではないかと。
- ・各区地域部会への参加について、ワン・オールに蓄積された各区地域部会の取り組みなどの情報を、必要な区へ発信できたらよいのではないかと。また、各区の取り組みを大切にしながら支援ができるとよいのではないかと。
- ・各地域部会への参加が、特定の区に偏っていることが、何年も続いていたので、10区ある程度バランスよく参加した方がよいのではないかと。多く行く必要がある場合もあると思うが、その場合は、理由を伝えていただくと、みんなもわかりやすい。基本バランス良い参加が、札幌市基幹相談支援センターであるワン・オール役割ではないかと。
- ・政令指定都市へのアンケート調査の結果を基に、今後札幌市と協議を重ねていけるとよいのではないかと。
- ・基幹相談センターのあり方は、委託相談支援事業所のあり方にも関ってくるため、訪問調査の結果などを基に、札幌市と今後具体的に整理していけるとよいのではないかと。

等